



## 新春に贈る言葉



新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、お正月の新聞には、各企業が新年に当たっての決意を表したキャッチコピーが数多く載っています。今年は、「笑顔」「未来」「変わる」などの言葉が多く見られました。

- ◇ **笑顔が咲く。未来に咲く。** [花王]  
2010年、まっさらな新しい一年が、あなたの笑顔とともに始まりますように。
- ◇ **視点を変えれば、世界は変わる。** [四国化成]  
人が目をつけないところに着目する。人が当たり前と思っていることを見直してみる。人がマイナスに捉えていることをプラスに変えてみる。新しい発明というのは、何もないところから生まれるのではなく、ありふれた日常の中にひそんでいると思います。いつものことと思っていることも、ちょっと視点を変えてみたら、思いもかけないアイデアに化けるかも知れません。
- ◇ **今年、あなたは誰に笑顔を届けますか。** [マグナルド]
- ◇ **いろいろな未来があって、みんなワクワクするね。** [TOYOTA]
- ◇ **一瞬も一生も美しく わたしが変わる。世界を変える。** [SHISEIDO]
- ◇ **想いをこれから カタチに** [百十四銀行]
- ◇ **近道なんてない。でも、まわり道はさせない。** [医学部専門予備校 富士学院]
- ◇ **活字は、見えないものすべてを、私たちに見せてくれる。** [集英社]



また、新聞にはテレビや映画などの紹介も多く載っています。下の文章も、新聞一面を使った大広告で、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の宣伝を兼ねたものではないかと思われます。

詫間中学校も、生徒会スローガン「新志新風」のもと、生まれ変わろうと取り組んできましたが、残された3か月、今一度、詫間中学校を変えるために何かを始めてみませんか。題して「*Re・TAKUCHU!* PROJECT」、主役はみなさん一人一人です。

### *Re・JAPAN! PROJECT ~もう一度、ニッポンから何かを~*

空を飛べないから、飛行機がうまれた。会えないから、電話がうまれた。孤独だから、歌がうまれた。何かのせいにして、そこに立ち止まるのは簡単なこと。何かに迷ったときは、つらいこと、難しいことの方を選ぼう。だってそれは、他の人がやらない可能性が高いものだから。  
最近誰かがテレビで言っていた。「やらなきゃいけないことを好きになることだ」。いい言葉だ、と思った。さあ、変わろう。

毎月発行されている雑誌PHP (Peace and Happiness through Prosperity)の頭文字をとったものの1月号のテーマは「人生、なんどでも挑戦できる」。今年は寅年、あなたも何かにトライしてみませんか。

### 人生、なんどでも挑戦できる

“できない”理由を数えるより、一片の勇気を持つ。何かを始めるのに遅すぎることはないはず。

- ◇ **「やってみよう」がスタート地点** [秋山仁 (数学者)]  
一度はあきらめてしまったことや、やりたいと思ったことをやってみる。願いはきっと花開きます。
- ◇ **チャンスは常に「今」** [百田尚樹 (作家)]  
年齢なんて関係なく、新しいことに挑戦している。そんな人を見ていると、自然と勇気がわいてきませんか。
- ◇ **遅すぎることはない** [久田恵 (ノンフィクション作家)]  
人生はなかなか思い通りに行かないもの。落ち込んでしまうより、“今”楽しむこと、見つけてみませんか。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

2月7日(日)を「浦島デー」(学校開放日)として、授業参観、人権集会、給食試食会などを実施する予定にしています。詳細につきましては、後日改めて連絡いたします。